



## 8 個人メールアドレスの申告及び顔写真データの提供

チームでは、事務局からチーム員への平常時及び緊急時における連絡のための、メール連絡網システムを導入しています。

つきましては、個人の携帯電話等、常時連絡が可能なアドレスから、件名に「チーム員」、本文に氏名、所属施設（または職能団体名等）を入力し、顔写真データ（肩より上・データ名に氏名を入力のこと）を添付の上、下記アドレスに送信してください。

【送信期限】令和元年9月30日（月）

【送信先】Email：[s-kikuchi@iwate-shakyo.or.jp](mailto:s-kikuchi@iwate-shakyo.or.jp)（事務局担当者アドレス）

## 9 個人情報の取扱い

受講申込書等をもって取得した個人情報については、岩手県の個人情報保護条例及び岩手県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシーに基づき、チームに関する業務以外の目的では使用しません。

## 10 その他

- (1) 本研修の事前学習として、総務省消防庁ホームページ動画「e カレッジ防災・危機管理」～基礎を学ぶ～編（<http://open.fdma.go.jp/e-college/kiso/01/kiso01.html>）を視聴の上、受講ください。
- (2) 当日は、チーム員連絡網システムの送受信確認を行う予定です。申告したメールアドレスが設定された携帯電話機等をご持参ください。
- (3) 昼食のあっせん及び飲料の提供はありません。会場内での飲食は可能です。
- (4) 研修会場（岩手保健医療大学）は、JR盛岡駅西口、アイーナの並びにあります。公共交通機関をご利用いただくか、車でお越しの際は、近くの有料駐車場をご利用ください。
- (5) 研修会場への問合せは、ご遠慮ください。

### 【問合せ先】

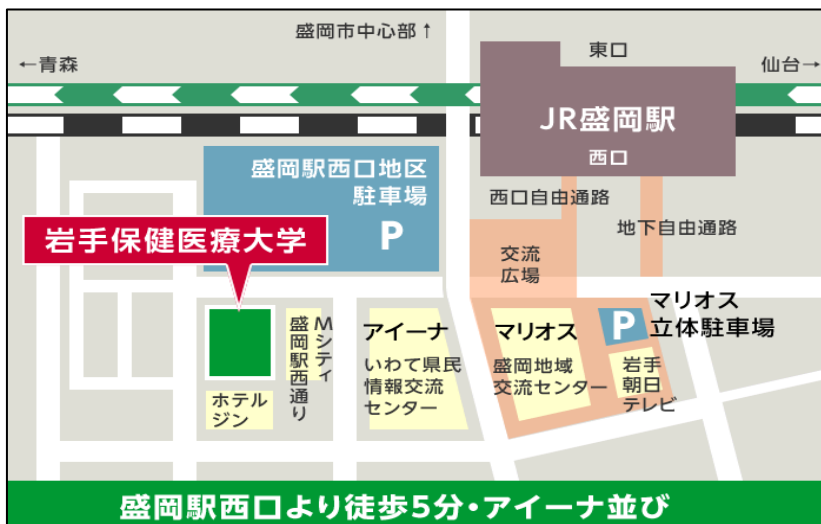
〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手内

TEL：019-601-7024 FAX:019-637-4255

岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部（担当：菊池）

Email：[s-kikuchi@iwate-shakyo.or.jp](mailto:s-kikuchi@iwate-shakyo.or.jp)

### 【会場案内】



## 令和元年度岩手県災害派遣福祉チーム登録研修日程

### 1 開講(10/11)

9:10～ 9:15	オリエンテーション
---------------	-----------

### 2 研修プログラム(1日目)

日程	科目名	形式	内容	ねらい	時間	講師	教材	
<b>事前学習</b>	災害の種類と災害によってもたらされる被害	自宅学習	①災害の種類と現象 ②過去の災害から見る被害 ③自分・家族の身の守り方	各種災害の現象とその被害状況を過去の事例から学び、災害及び被災地の状況をイメージする。 また、自分自身が災害に遭遇した場合に身の安全を図る重要性を理解する。		総務省消防庁ホームページ「e カレッジ防災・危機管理」～災害の基礎知識～編を事前に視聴のこと		
	9:15～10:00	チームに求められる役割	講義	①チーム創設までの経緯 ②チームの必要性と意義 ③災害時の福祉的課題 ④活動の目的と基本的な考え方	東日本大震災での福祉的課題を整理し、チームによる福祉的支援の必要性を理解する。	45分	岩手県介護福祉士会 顧問 吉田均氏	活動マニュアル 講師資料
<b>集合研修</b>	10:00～10:25	チーム活動手順Ⅰ	講義	①推進機構本部・事務局、チームの組織 ②本部・事務局との連携	推進機構の組織・役割、指示命令システムを理解し、チーム員として本部・事務局との連携を考える。	25分	機構本部(岩手県保健福祉部地域福祉課)	活動マニュアル 設置要綱等
	10:25～10:35	休息						
	10:35～14:25 (途中休憩60分)	チーム活動手順Ⅱ	講義	①チーム員の活動 ・平常時の体制 ・待機から派遣指示まで ・出勤 ・被災地到着時の動き ・活動初期対応 ・活動の実際 ・引き上げ ②資機材の確認と活用	平常時の体制から、災害発生時の具体的な活動、引き上げまでの具体的な手順を理解する。	170分	機構事務局	活動マニュアル等
	14:25～15:10	被災地でのチーム活動Ⅰ	講義	避難所設置・運営 ・避難所の種類や設置 ・避難所運営マニュアル ・指揮統制・連携確認 ・避難所内連絡会議の意義・内容	一般避難所や福祉避難所などの種類や設置期間などを知り、避難所の運営やチームが果たす役割、連絡会議の方法や必要性について理解する。	45分	機構本部 機構事務局	講師資料
	15:10～15:20	休息						
	15:20～16:35	被災地でのチーム活動Ⅱ	講義	①想定される活動内容 ・災害 ・期間 ・活動場所 ・支援対象者(災害時要援護者等) ・他団体との連携 ②被災者ニーズとその移り変わり	①想定されるチームの活動の概要を理解する。 ②東日本大震災支援で行われたニーズ調査結果を基に、環境や時間の経過によるニーズの変化を知る。 ③実際に活動した内容を理解する。	75分	東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一氏  機構事務局	活動マニュアル 講師資料

### 3 研修プログラム(2日目:10/12)

	日程	科目名	形式	内容	ねらい	時間	講師	教材
図上訓練	9:15~ 9:30	オリエンテーション						
	9:30~ 12:00	活動シミュレーションⅠ	演習	図上訓練	具体的な災害想定をし、周囲がどのような状況になっているか、どのような行動をとったらよいか、グループワークを通してイメージトレーニングする。	150分 (休憩含)	【講師】 東北福祉 大学総合 福祉学部 教授 都築 光一氏	講師資料
	12:00~ 13:00	休息・休憩						
	13:00~ 16:30	活動シミュレーションⅡ	演習	図上訓練	具体的な災害想定をし、周囲がどのような状況になっているか、どのような行動をとったらよいか、グループワークを通してイメージトレーニングする。	210分 (休憩含)	【ファシリテーター】	講師資料

### 4 閉講

16:30~ 16:45	まとめ、修了証交付
-----------------	-----------